

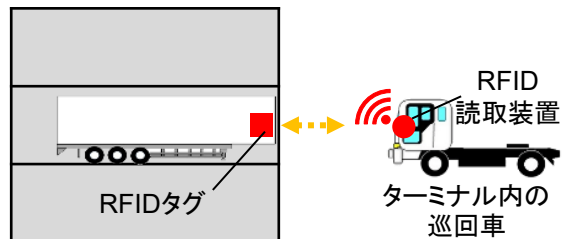
令和7年度現地技術検証の方向性

令和7年10月20日

国土交通省

港湾局 計画課

令和7年度は、令和6年度現地技術検証の課題(カメラ設置台数の増加や設置位置の工夫が必要、気候・地理的条件によりカメラ精度が低下等)を踏まえ、ターミナルの現場環境に応じて、カメラ以外のシャーシ・コンテナ位置管理等のシステム導入が考えられることから、既存の導入事例の効果検証とともに、補完的な現地技術検証を実施。

① 既存のシャーシ・コンテナ位置管理等システムの導入事例の効果検証（GPS、ゲートでの駐車位置指定を想定）	② ①以外のシャーシ・コンテナ位置管理等システムの現地技術検証（ICタグ、スマートフォンのカメラ等を想定）
	

・検証事項について

①基本的事項

- 各システムの認識・位置情報取得精度の確認
- エラー発生時の条件とその改善策

②システム導入効果

- システム導入によるヤード利用の効率性向上(業務時間やシャーシ滞留時間の削減等)の効果を計測・分析

・現地技術検証を実施するターミナルについて

内航フェリー、RORO船ターミナルのうち、以下の条件を満たす場所

- ①シャーシ探索に時間を要しており、システムを導入することで探索時間の短縮が期待できる
- ②他港への横展開を見据えた技術検証が可能である
- ③技術検証参加者の理解が得られ、円滑な実施が可能である